

平成30年度学位(博士)論文審査の申請について(論文提出者用)

- 1 学位論文予備審査申請期間(郵送可・期間内に必着のこと)
9月授与 平成30年 4月11日(水)～4月12日(木) 16時まで
3月授与 平成30年 10月11日(木)～10月12日(金) 16時まで
- 2 学位論文予備審査申請書類
 - (1) 博士論文予備審査申請書(様式第1号) …1部
 - (2) 博士論文草稿 …5部 ※「8 学位論文提出上の注意」参照。
 - (3) 博士論文の要旨(様式第2号) …5部
※A4判とし、和文で2,000字程度又は英文750words程度。左上ホチキス留め。
 - (4) 参考論文 …各5部
※参考論文とは、学位論文の基礎となる単著もしくは共著の論文で、学術雑誌に公表されたもの又は予定のものとする。共同研究あるいは共著である場合には、自己の執筆担当部分を明記するものとする。
 - (5) 論文目録(様式第3号) …5部
 - (6) 履歴書(様式第4号) …1部
 - (7) 最終学歴の証明書 …1部 ※最終学歴が本研究科の者は、提出不要。
・修了証明書(大学院博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位数を修得して退学した者は、その証明書。)
- 3 学位論文予備審査の結果
審査の結果は、郵便にて通知します。
9月授与 平成30年 5月11日(金)頃
3月授与 平成30年11月23日(金)頃
- 4 学位論文審査申請期間(郵送可・期間内に必着のこと)
9月授与 平成30年6月7日(木)～6月8日(金) 16時まで
3月授与 平成31年1月4日(金)～1月7日(月) 16時まで
- 5 審査手数料 57,000円
所定の用紙を使い、金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)の窓口で振込により納付すること。
 - ・振込期間：9月授与
…平成30年 5月31日(木)～平成30年6月8日(金)15時まで
3月授与
…平成30年12月28日(金)～平成31年1月7日(月)15時まで
 - ・ATM(現金自動預払機)での振込不可。
 - ・納入された審査手数料は還付しない。
 - ・本研究科に所定の修業年限以上在学し、所定の単位数以上を修得して退学した者が、退学後1年以内に博士論文の審査を申請する場合は、手数料の納付は要しない。

6 学位申請書類

- (1) 博士論文審査申請書(様式第6号) …1部
- (2) 博士論文 …4部 ※「8 学位論文提出上の注意」参照。
- (3) 博士論文の要旨(様式第2号) …4部
※A4判とし、和文で2,000字程度又は英文750words程度。左上ホチキス留め。
- (4) 参考論文 …各4部
※参考論文とは、学位論文の基礎となる単著もしくは共著の論文で、学術雑誌に公表されたもの又は予定のものとする。共同研究あるいは共著である場合には、自己の執筆担当部分を明記するものとする。
- (5) 論文目録(様式第3号) …4部
- (6) 審査手数料振込領収証控 ※依頼人欄及びフリガナ欄は必ず記入すること。
- (7) 博士論文公表申請書 ※「12 博士論文のインターネット公表について」参照。

7 学力の確認

下記期間中に、当該博士論文を中心として、関連する専門分野及び外国語について、筆記又は口述等の方法で行います。

実施日時・場所については、申請者が予定主査に直接問い合わせること。

9月授与 平成30年7月 2日(月)～7月13日(金)

3月授与 平成31年1月25日(金)～2月 7日(木)

8 学位論文提出上の注意

学位論文の体裁は以下の通りとする。

- ① 論文はA4判とし、ワープロ、タイプ印字又は活字印刷のものとする。
- ② 記載は、和文又は英文で、縦位置・横書き又は横位置・縦書きとする。
- ③ 印刷は、原則として白色上質紙に両面印刷とする。(コピー用紙可)
- ④ 表紙(次頁作成例参照)を付ける。
- ⑤ 論文にはページを付し、目次を付ける。(枚数制限、字数制限はありません。)
- ⑥ 論文提出後の内容訂正・差し替えはできないので、誤字・脱字・当て字の無いよう注意すること。
- ⑦ 論文は1部ずつ封筒に入れて提出すること。(穴空けパンチは使用しない。)

(学位論文表紙作成例)

【9月授与】

【3月授与】

論 文 名 — 副 題 —
2018年9月 新潟大学大学院 現代社会文化研究科 氏 名

論 文 名 — 副 題 —
2019年3月 新潟大学大学院 現代社会文化研究科 氏 名

※現在の所属ではなく、新潟大学大学院現代社会文化研究科とお書き下さい。

9 審査結果

審査の結果は、現代社会文化研究科ホームページにて発表及び郵便にて通知します。なお、審査結果の発表は、後日通知する審査申請番号にて行います。

9月授与 平成30年8月7日(火) 17時頃

3月授与 平成31年3月4日(月) 17時頃

10 学位論文の製本について

審査合格者の論文は、審査終了後、校費負担により製本の上、現代社会文化研究科で保管します。(本人には返却されません。)

11 申請場所・問い合わせ先

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学人文社会科学系大学院学務係

電 話：025-262-6166・6826

メール：jimugen@cc.niigata-u.ac.jp

12 博士論文のインターネット公表について

平成25年4月の学位規則の一部を改正する省令(平成25年文部科学省令第5号)の施行にともなう新潟大学学位規則の改正により、博士の学位を授与された者は、博士論文を印刷公表することに代えて、インターネットを利用して全文を公表することとなりました。

論文審査終了後の学位論文を「新潟大学学術リポジトリ」へ登録しインターネット公表することについて添付資料を確認の上、「博士論文公表申請書(別紙1)」及び学位論文全文の電子ファイル(CD-Rに保存してください)を人文社会科学系大学院学務係に提出してください。

※「やむを得ない理由」により全文をインターネット公表しない場合は、研究科の承認を経たうえで、論文内容の要約を公表することとなりますので、「論文の内容の要約（別紙2）」の電子ファイルを併せて提出してください。なお、「やむを得ない理由」にあたるかの判断は、現代社会文化研究科教授会代議員会にて審議の上決定しますので、後日結果を連絡します。おって、「やむを得ない理由」が無くなった場合は全文を公表することとなりますので、その場合は人文社会科学系大学院学務係まで連絡してください。

【提出期限】 博士論文公表申請書 9月授与 平成30年6月8日(金)
3月授与 平成31年1月7日(月)

学位論文データ 9月授与 平成30年8月8日(水)
3月授与 平成31年3月5日(火)

※電子ファイル提出上の注意

- ・提出する電子媒体の見えるところに、氏名・提出日と、中身が論文本体であることを明記する。
- ・必ずPDF形式で作成する。（PDF/A（ISO-19005）推奨）
- ・長期的な可読性・保存・アクセシビリティ確保のため、以下のことに注意する。
 - 機種あるいはベンダー依存の形式ではないこと。
 - 外部情報源（外部フォント等）を参照していないこと。
 - 暗号化、パスワードの設定、印刷制限等を行わないこと。
- ・本文と図表等はできるだけ分割せず、一つのファイルにして提出する。
- ・提出された電子媒体は、原則返却しません。